

NEXGRILL[®] DELUXE

取扱説明書

和訳



屋外専用

屋内での使用はできません

LPガス専用

720-0898E
ITM. / ART.67305

19001132A0

シリアル番号 _____ 製造元。日付 _____ 購入日: _____

- この取扱説明書には、本機の適切な組み立てと安全な使用に必要な重要情報が記載されています。
- 器具を組み立てたり使用したりする前に、すべての警告と指示を読み、従ってください。
- このマニュアルは、今後の参考のために保管してください。



質問、問題、欠落している部品は？販売店に返品する前に、カスタマーサービス
(886-0800-500645、月～金、午前8時～午後5時)にお電話ください。

屋外専用。業務用ではありません。

安全指導	2	お手入れの仕方	10
ガスボンベについて	6	バッテリーに関する重要な情報	11
インストーラー最終チェックリスト	6	トラブルシューティング	11
漏れ検査	7	部品のご注文	12
操作方法	8	限定保証	13
コンポーネントの識別	8	分解図	14
点火方法	9	部品リスト	15

安全指導

⚠ 危険

ガスの臭いがしたら：

- 器具へのガスを止める。
- あらゆる裸火を消す。
- 蓋を開ける。
- 臭いが続く場合は、器具から離れ、直ちにガス供給会社または消防署に連絡してください。

⚠ 警告

- 本機器やその他の機器の近くにガソリンなどの可燃性液体や蒸気を保管したり、使用したりしないでください。
- 使用するために接続されていない LP シリンダーは、本機器または他の機器の近くに保管してはならない。

⚠ 危険

- このガス器具は絶対に無人状態で操作しないでください。
- 構造物、可燃物、または他のガスボンベから 3m / 10 ft 以内で本機器を絶対に操作しないでください。
- 可燃性液体の 7.6m/25ft の範囲では、本機器を絶対に操作しないでください。
- 最大充填量を超えて調理容器を充填しないでください。
- 加熱された液体は、調理工程が終わっても、やけどをするような温度が長く続きます。液体が 45°C / 115°F 以下に冷めるまで、調理器具には絶対に触れないでください。
- この電気器具はヒーターとして使用するものではありません。
- 万一火災が発生した場合は、機器から離れ、直ちに消防署に連絡してください。油脂火災を水で消火しようとししないでください。

⚠ 下記の事項に従わない場合、火災や爆発が発生し、重大な人身事故、死亡事故、物的損害が発生する恐れがあります。

⚠ グリルはとても熱くなります。グリル使用中は、絶対に調理エリアに身を乗り出さないでください。グリル使用中、または使用後ガスグリルが冷めるまでは、調理面、グリルハウジング、蓋、他のグリル部品に触れないでください。



警告

本取扱説明書の「点火方法」の項を読まずに、本機器の点火を試みないでください。

グリルの設置コード

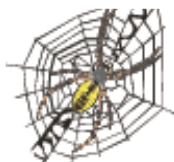
設置方法については、お住まいの地域の建築基準を確認して、それに従って設置する必要があります。

LPガスタンクの正しい使い方

LPガスグリルは、標準的な5kgの液体プロパンガスタンクを使用するように設計されています。この容量を超えるLPガスタンクにガスグリルを接続しないでください。

注意：フラッシュバックに注意

注意：輸送中や保管中に、クモや小さな昆虫がグリルのバーナーチューブに巣を作ったりすることがあります。クモの巣等はガスの流れを妨げて、バーナーチューブ内やその周囲で火災を引き起こす可能性があります。



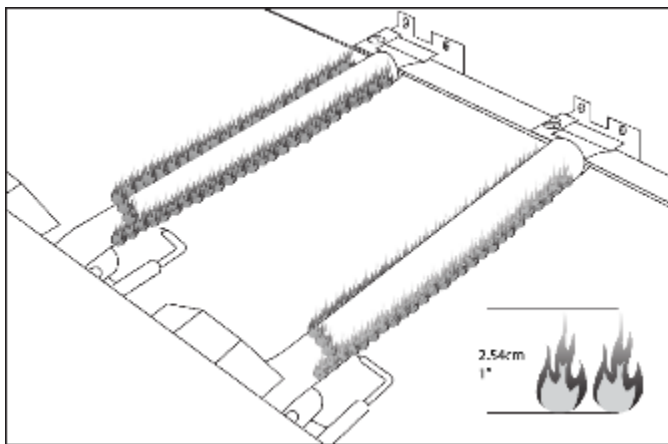
このような火災は「フラッシュバック」と呼ばれ、グリルに重大な損傷を与え、使用者にとって危険な状態を引き起こす可能性があります。

他の原因でも「フラッシュバック」は発生しますが、クモや昆虫が原因となるのが最も一般的です。

「フラッシュバック」の可能性を減らすには、グリルを組み立てる前にバーナーチューブを清掃し、クモが最も活発に活動する夏の終わりから秋の初めにかけては、少なくとも月に一度は清掃してください。また、グリルを長期間使用していない場合は、バーナーチューブ清掃を行ってください。チューブが詰まると、グリルの下で火災が発生する可能性があります。

注意：レギュレーターとホースアセンブリを通る通常のガスの流れは、うなり音を発生させることがあります。小さな音は全く正常であり、グリルの操作に支障をきたすことはありません。ハムノイズが過剰な場合は、ガス管からエアをパージするか、レギュレーターの過剰ガス流量装置をリセットする必要があるかもしれません。このパージ手順は、新しいLPガスタンクをグリルに接続するたびに必要があります。

毎回使用する前に、バーナーの炎を目で確認してください。炎はこの写真のようになります。そうではない場合は、本マニュアルのバーナー・メイン・テナントのパートを参照してください。





警告

ガス供給バルブの近くに石鹼水を入れたスプレーボトルを置いておき、毎回使用前に接続部を確認してください。



警告

この屋外調理用ガス器具は、ポート内またはポート上に設置することを意図していません。RV車内にも設置しないでください。

グリル・ラックやグリル用底網にアルミホイルを敷かないでください。

これは燃焼 airflow を大きく乱したり、制御エリアに過剰な熱を閉じ込めたりする可能性があります。

人身事故を避けるための安全対策

適切に手入れされたグリルは、長年にわたり安全で信頼できるサービスを提供します。ただし、グリルからは事故の可能性を高めるような強い熱が発生するため、細心の注意が必要です。この電気器具を使用する際は、以下を含む基本的な安全慣行に従わなければなりません：
本取扱説明書で特に推奨されていない限り、グリルのいかなる部分も修理または交換しないでください。その他の修理は、資格を有する技術者にご依頼ください。
このグリルは、娯楽用車両やボートへの取り付けを意図したものではありません。

グリルが使用されている場所では、子供を一人にしないでください。グリルの中や周囲で、座ったり、立ったり、遊んだりさせないでください。
グリルの周りや下には、子供の興味を引くようなものを置かないでください。

冷めるまで、衣服、鍋つかみ、その他の可燃物を火格子、バーナー、高温の表面に接触させたり、近づけたりしないでください。生地が発火し、人身事故を引き起こす恐れがあります。

身の安全のため、適切な服装を着用してください。本機の使用中は、ゆったりとした衣服や袖を着用しないでください。合成繊維の中には非常に燃えやすいものがあるので、調理中は着用しないでください。

グリルの使用に適しているのは、特定の種類のガラス、耐熱ガラスセラミック、土器、その他の釉薬のかかった調理器具のみです。これらの素材は急激な温度変化で破損する可能性があります。メーカーのガイドラインに従い、弱火または中火でご使用ください。

未開封の食品容器を加熱しないでください。圧力が上昇すると容器が破裂する恐れがあります。

グリルの蓋を開けるときは、覆いのある手を使います。開いたグリルから決して身を乗り出さないでください。

バーナーに火をつけるときは、自分のしていることに細心の注意を払ってください。どのバーナーに点火しているのかを確認し、体や衣服が裸火に触れないようにします。

グリル使用中は、グリルラック、バーナー火格子、またはその周辺に触れないでください。これらの部分は非常に熱くなり、火傷の原因となります。乾いた鍋敷きのみを使用します。高温の表面に湿った鍋敷きを置くと、湯気によるやけどの恐れがあります。タオルやかさばる布を鍋敷きの代わりに使わないでください。鍋つかみをグリルラックの熱い部分に触れさせないでください。

グリースは可燃性です。熱いグリースは冷ましてから扱ってください。グリルの火室の底にあるグリーストレイにグリースが溜まらないようにしてください。グリーストレイを頻繁に清掃してください。

グリルラックやグリル用底網にアルミホイルを敷かないでください。これは、燃焼空気の流れを大きく乱したり、制御エリアに過剰な熱を閉じ込めたりする可能性があります。

バーナーを適切に点火し、性能を発揮させるため、バーナーポートを清潔に保ってください。最適な性能を発揮するためには、定期的に清掃する必要があります。バーナーは1つの位置でしか作動しないため、安全な運転のためには正しく取り付ける必要があります。

グリルの清掃には十分注意してください。スチームによる火傷を避けるため、グリルが熱いうちに濡れたスポンジや布で掃除しないでください。クリーナーの中には有毒ガスを発生するものや、高温の表面に塗布すると発火するものがあります。

グリルの制御を止め、グリルが冷めていることを確認してから、グリル上またはグリル周辺でエアゾールクリーナーを使用してください。噴霧作用をもたらす化学薬品は、熱の存在下で発火したり、金属部品を腐食させたりする可能性があります。

グリルで脂身の多い肉や、燃え上がりを促進するような製品を調理しないでください。

保護されていない可燃性建築物の下でグリルを使用しないでください。換気の良い場所でのみ使用してください。建物、ガレージ、物置、風除室、その他密閉された場所では使用しないでください。

グリルの周囲には、液体、ゴミ、ガソリンや着火用の液体のような蒸気など、可燃物を置かないようにしてください。燃焼および換気の空気の流れを妨げないでください。

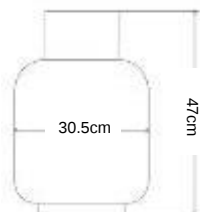
規制されていないガス供給ラインを機器に接続しないでください。

液体プロパン（LPガス）専用。
都市ガス（天然ガス）では絶対に使用しないでください。
全バーナーを付けた時の総ガス消費量（1時間当たり）：

メインバーナー	6 @ 2.93 kWh
ガス総消費量	17.58 kWh

LPガス供給システム

- この情報を正確に守らないと、死亡または重傷につながる火災が発生する恐れがあります。
- 直径約 30.5cm×高さ約47cm の5kgのLPガスの容器が使用できます。
- ポンベの入手と、ガスの充填はお近くのLPガス販売会社にお尋ねください。
- LP ガスタンクには、LP バルブアウトレットで終端するシャットオフバルブが必要です。LP ガス供給ポンベは、バルブ出口で終端する遮断バルブを備えていなければなりません。LP ガス供給ポンベには、過充填防止装置(O.P.D) が付いていなければなりません。LP ガスタンクには、タンクの蒸気空間と直接接続された安全リリーフ装置も付いていなければなりません。この安全機能は、LPガスタンク、レギュレーター、グリルの誤作動の原因となる過充填を防ぎます。
- タンク供給システムは、蒸気を引き出せるように配置されていなければなりません。
- 使用するLPガスタンクには、タンクバルブを保護するカラーが必要です。
- シリンダーを使用しないときは、必ずダストキャップをシリンダーバルブ出口に取り付けてください。シリンダーバルブ出口には、シリンダーバルブに付属しているタイプのダストキャップのみを取り付けてください。他のタイプのキャップやプラグは、プロパンが漏れる恐れがあります。
- 規制されていないLPガスタンクを絶対にガスグリルに接続しないでください。
- 初めてのご使用の際、本体とガスホースの接続部分は、お近くのガス会社にご依頼ください。
- LPガスは、信頼できるプロパンガス販売店によって充填し、充填の都度、目視検査を受けてください。
- 予備の LPガスポンベを本機器の下や近くに置かないでください。
- シリンダーは絶対に80%以上充填しないでください。
- LPガスタンクは、常に直立した状態で保管してください。
- 本機器やその他の機器の近くにガソリンやその他の可燃性の蒸気や液体を保管したり、使用したりしないでください。
- 屋外調理用ガス器具を屋内に保管することは、ポンベを屋外調理用ガス器具から切り離して取り外した場合のみ許されます。
- ガスグリルを使用しないときは、LPガスタンクのガスを止めなければなりません。



グリルの適切な配置とクリアランス

- ガレージ、ポーチ、物置、風除室、その他閉め切った場所では絶対にガスグリルを使用しないでください。ガスグリルは屋外でのみご使用ください。可燃性の筐体には取り付けしないでください。本機の側面および背面から可燃構造物までの最低隙間は、側面から 91cm / 36 インチ、背面から 91cm / 36 インチです。

- 本機器は、可燃性表面の下で使用しないでください。この屋外調理用ガス器具は、**娯楽用車両やボートに設置することは意図されていません。**
- LP ガスタンクは、屋外の換気の良い場所で、子供の手の届かない場所に保管してください。LP ガスタンクは、建物、ガレージ、その他閉鎖された場所に保管してはなりません。
- ガスグリルのハウジング周辺の換気空気の流れを妨げないでください。ガスグリルにLPガス会社指定のレギュレーターとホースアセンブリのみを使用してください。交換用レギュレーターおよびホースアセンブリは、LPガス販売会社にお尋ねください。
- レギュレーターとホースアセンブリは、グリルを使用する前に必ず点検してください。過度の摩耗や磨耗がある場合、またはホースが切断されている場合は、グリルを運転する前に交換する必要があります。交換用ホースアセンブリは、LPガス販売会社が指定するものを使用してください。
- 屋外調理用ガス器具にガス会社が指定する圧力調整器とホースアセンブリを使用する必要があります。他のタイプのレギュレーターで代用しないでください。メーカー指定の交換部品については、カスタマーサービスにお問い合わせください。
- この屋外調理用ガス器具には、LPガス用圧力調整弁の規格ANSI/ UL 144に準拠した圧力調整弁が装備されています。
- グリルで練炭を使用しないでください。
- グリルは、練炭を使用せずに最適な性能を発揮するように設計されています。練炭をラジエントの上に置かないでください。グリルバーナーの排気口が塞がれてしまいます。練炭を加えると、点火部品やノブが損傷し、保証が無効になることがあります。
- 荷台とサイドカートにゴミがないようにしてください。電源コードやロティサリーモーターのコードは、グリルの加熱部分に近づけないでください。
- 極端に風の強い場所ではグリルを使用しないでください。常に風の強い地域（海沿い、山頂など）にある場合は、防風林が必要となります。常に指定されたクリアランスを守ってください。
- 凹んだり錆びたりしたプロパン・タンクは絶対に使用しないでください。
- 電気供給コードおよび燃料供給ホースは、加熱面に近づけないでください。
- 点火中は、顔や手をグリルからできるだけ離してください。
- バーナーの調整は、バーナーが冷めてから行ってください。

警告

グリルは非常に熱くなります。グリルの使用中は、絶対に調理場から身を乗り出さないでください。グリル使用中、または使用後ガスグリルが冷めるまでは、調理面、グリルハウジング、蓋、他のグリル部品に触れないでください。

これらの指示に従わない場合、重傷を負う可能性があります。

注意：感電の危険を確実に防止するため、適切に設置されたコンセントのみに接続してください。感電の危険を低減するため、延長コードの接続部は濡らさず、地面から離してください。

ガスボンベの入手と充填について

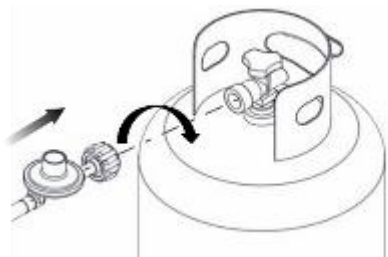
ボンベの入手と、ガスの充填はお近くのLPガス販売会社にお問い合わせください。
ガスの販売事業者は全国に約26,000店あります。
ご自宅で既にLPガスを使用しているようでしたら、ご利用のLPガス販売会社にお問い合わせください。
空の容器に充填を依頼すると3-4日かかる場合もあります。
キャビネットには、5kgの容器が収まる仕様になっています。

小型ガス容器を入手する前に、LPガス販売店へ確認しておく事をお勧め致します。

ご自宅でLPガスを使用している場合は、本製品の設置場所近くまで配管をして、ガスコックを設置する方法もあります。その場合、ガスボンベは不要です。

LPガス販売店は、タウンページやインターネット上で探すことができます。

警告：器具を使用しない時は、必ずガスボンベバルブを閉めてください。

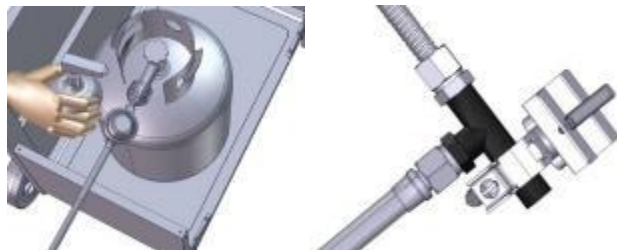


ガスボンベの接続

1. 初めてご使用の際、本体とガスホースの接続部分はお近くのガス会社にご依頼ください。
2. ボンベバルブを完全（反時計回り）に開けます。

点火する前に、石鹼水※を使用してガス漏れ検査をすべての接続部に行ってください。
ガス漏れが見つかったら、ボンベバルブを閉めてください。
ガス漏れが修繕されるまで、グリルを使用しないでください。

※ボンベ近くに石鹼水を入れたスプレーを置いておくとう便利です。ガスボンベのバルブを開けてから接続箇所にもスプレーを吹きかけ、泡が出てきたら漏洩があります。漏洩があった場合は、ボンベバルブを閉めてガス会社へ連絡してください。



L.P.ガスボンベを取り外す：

1. バーナーバルブをオフにします。
2. タンクバルブを完全にオフにします（時計回りに回して止める）。
3. クイックカップリングナットを反時計回りに回し、タンクバルブからレギュレーターアセンブリーを取り外します。

インストーラー最終チェックリスト

- ✓ ユニットの側面および背面から可燃構造物までの最低隙間、側面から91cm、背面から91cm。
- ✓ 内部のパッケージはすべて取り除かれています
- ✓ ノブは自由に回ります
- ✓ バーナーが締まっていて、オリフィスにきちんと収まっています
- ✓ 圧力レギュレーターを接続してセットします
- ✓ ユニットテスト済みで、漏れありません
- ✓ 使用者にガス供給遮断弁の位置を知らせます

将来の参考のためにこのマニュアルを保管してください。

ガスボンベに関する注意事項

- a) 本機器の下や近くに予備のLPガスボンベを保管しないでください。
- b) ボンベは絶対に80%以上充填しないでください。
- c) 「a」と「b」の情報を正確に守らないと、死亡または重傷を引き起こす火災や爆発が発生する可能性があります。

全般

出荷前にグリルの全てのガス接続は工場でリークテストされていますが、出荷時の誤った取り扱いや、過度の圧力が知らず知らずのうちに本体に加わっている可能性があるため、設置場所で完全なガス漏れテストのチェックを行う必要があります。以下の手順に従って、システム全体の漏れを定期的に点検してください。

いつでもガスの臭いが検出された場合は、システム全体に漏れがないか直ちに確認する必要があります。

検査前

タイダウンストラップを含め、すべての梱包材がグリルから取り除かれていることを確認してください。

ガス漏れテスト中は喫煙しないでください。

炎で漏れテストを絶対にしないでください。

液体洗剤と水を 1 対 1 の割合で混ぜて石鹸水を作ります。この溶液を継手に塗布するには、スプレーボトル、ブラシ、または布が必要です。最初の漏れテストでは、LPガスボンベが80%充填されていることを確認してください。

テスト

1. コントロールバルブが「O」の位置にあることを確認し、ガス供給をオンにします。
2. L.P.ガスレギュレーターと供給バルブから、マニホールドパイプアッセンブリー（バーナーに行くパイプ）への接続を含む全ての接続をチェックする。漏れがある場所では、泡が現れます。
3. ガス漏れがある場合は、直ちにガスの供給を止め、リースを締めてください。
4. ガスを入れ直し、再確認する。
5. 継手からガスが漏れ続ける場合は、ガスの供給を止め、カスタマーサービス（886-0800-500645）までご連絡ください。

グリルに使用する部品は、メーカーが推奨するものだけを使用してください。

代替品は保証を無効にします。すべての接続を確認し、漏れがないことを確認するまでグリルを使用しないでください。

ガス・フロー・チェック

各グリルのバーナーは出荷前に工場テストされ、調整されていますが、地域のガス供給の違いにより、バーナーの調整が必要になる場合があります。バーナーの炎を目視で確認してください。

炎は青く安定しており、先端が黄色くなったり、過度のノイズや浮き上がりがないように確認をしてください。このような状態の場合、エアシャッターやバーナーポートがゴミやクモの巣などで塞がれていないか確認してください。炎の安定性に関するご質問は、カスタマーサービス（886-0800-500645）までお問い合わせください。

L.P.タンク交換の後は必ず漏れがないかチェックしてください。

毎回使用する前に、すべてのガス供給継手の漏れをチェックしてください。ガス供給ラインの遮断弁の近くに、石鹸水を入れたスプレーボトルを置いておくとう便利です。すべてのフィッティングにスプレーします。泡が出たら漏れがあります。



グリルの準備ができました！

グリルとロティセリーの一般的な使い方

各メインバーナーの定格は 2.93kWh。メイングリルのバーナーは調理エリア全体をカバーし、落下する油やゴミによる閉塞を最小限に抑えるため、サイドポート式になっています。ノブはコントロールパネルの中央下部にあります。各ノブにはコントロールパネルにラベルが貼られています。

注意：高温のグリルは食材を炙り、肉汁を閉じ込めます。グリルの予熱が十分であればあるほど、肉の焼き色が早くつき、グリルの焼き目が濃くなります。

調理中はグリルを放置しないでください。

グリルの使い方

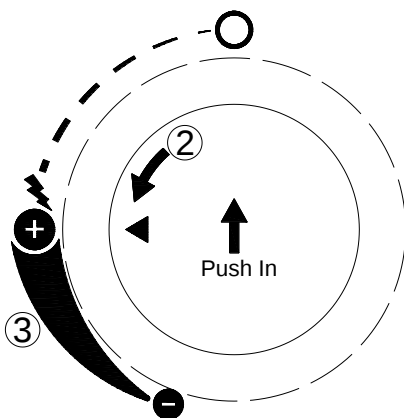
グリル料理では、焦げ目をつけ、きちんと焦げ目をつけるために高温が必要です。ほとんどの食品は、調理時間中ずっと「」の火力設定で調理されます。ただし、大きな肉や鶏肉を焼く場合は、最初の焼き色がついた後に弱火にする必要がある場合があります。こうすることで、外側を焦がさずに中まで火を通すことができます。長時間調理した食材や、糖分の多いマリネ液で味付けした食材は、調理時間の終了間際に弱火設定が必要になる場合があります。注意：このグリルは、溶岩石や練炭を使わずに効率よく焼けるように設計されています。熱は、各バーナーの上に配置されたステンレス製の炎抑制装置によって放射されます。

コンポーネントの識別

注意：グリルを使用する前に、ストラップを含むすべての梱包材を取り除いてください。



メインバーナー



⚠ 警告：重要！

点灯前

ガスを「ON」にする前に、ガス供給ホースを点検してください。切断、摩耗、擦り切れの痕跡がある場合は、使用前に交換する必要があります。ガス臭がする場合はグリルを使用しないでください。規格に合った圧力レギュレーターとホースアセンブリのみを使用してください。レギュレーターとホースアセンブリは、ガス会社指定以外のものと絶対に交換しないでください。交換が必要な場合は、ガス販売会社に連絡し、適切な交換を行ってください。

ガス供給バルブの近くに石鹼水を入れたスプレーボトルを置いておき、使用前に毎回接続部を確認してください。

ガスの臭いがする場合は、グリルに点火しないでください。お電話でのお問い合わせは886-0800-500645までお願いします。

⚠ 警告

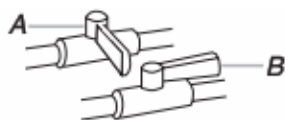
火をつけるときは、顔や体をバーナーからできるだけ離してください。

各バーナーは出荷前に調整されていますが、地域のガス供給の変動により、微調整が必要になる場合があります。

メインバーナーに点火します。

すべてのノブがオフになっていることを確認してから、LP（液体プロパン）タンクからのガス供給をオンにします。火をつけるときは、顔や体をバーナーからできるだけ離します。

ガスボンベ以外からLPガスを供給する場合、ガス供給ラインの手動シャットオフバルブを開きます。ハンドルがガス管に平行なとき、バルブは開いています。



A・クローズドバルブ
B・オープンバルブ

メインバーナーに点火するには、メインバーナーコントロールノブを押しながら回し、同時に電子点火ボタンを押し続けます。バーナーに火がついたら、電子点火ボタンとノブを離します。バーナーが点火しない場合は、余分なガスが消えるまで5分間待ってから再試行してください。

注意事項

ボンベを使用しないときは、ボンベバルブ出口にダストキャップを取り付けてください。ボンベバルブの出口には、ボンベバルブに付属しているタイプのダストキャップのみを取り付けてください。他のタイプのキャップやプラグは、プロパンが漏れる可能性があります。

本機を使用しないときは、必ずガスボンベのバルブを閉めてガスを止めてください。

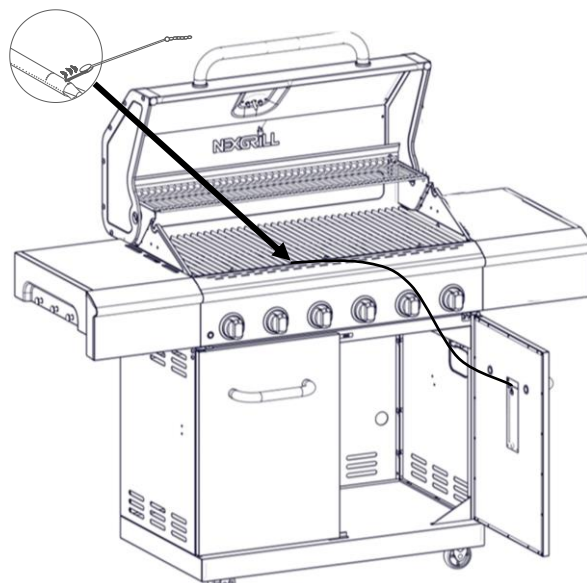
本機を屋内に保管する場合は、ボンベを本機から取り外さなければなりません。ボンベは子供の手の届かない、屋外の換気の良い場所で保管してください。

マッチで点火

マッチで点火

1. 何度試しても点火しない場合は、マッチで点火することができます。マッチを使用する前に、溜まったガスが消えるまで5分ほど時間をおいてください。
2. マッチホルダーの片端にマッチをはさみます。
3. マッチを点火する。
4. マッチホルダーを持ち、火をつけたマッチをバーナーポートまたはセラミックファイルのすぐ横に差し込みます。
5. 指定のコントロールノブを押しながら、 まで回します。
6. バーナーはすぐに点火するはずです。

メインバーナー



ステンレス・スチール

ステンレス・スチール・クリーナーにはさまざまなものがあります。最初は常に最もマイルドな洗浄手順を使用し、木目の方向にこすり洗いしてください。スチールたわしは表面に傷が付きまますので使用しないでください。ステンレスの目立つ傷を補修するには、乾いた100番の紙やすりで木目に沿って軽くやすりがけしてください。ステンレスの表面には油脂の粒が集まり、それが焼きついて錆のように見えることがあります。除去には、ステンレス用クリーナーと中性研磨パッドを使用します。

グリル網

グリルの掃除に最適な方法は、調理が終わって火を消してからすぐに行うことです。熱と蒸気で手にやけどをしないように、バーベキューミットや手袋を着用してください。真鍮のブラシやたわしを水に浸し、熱いグリルを磨きます。ブラシを頻繁に水に浸します。水が熱いグリルに触れて発生する蒸気が、食べ物のカスを柔らかくして掃除しやすくなります。掃除する前にグリルが冷めると、掃除が難しくなります。

ガス供給とノブが「○」の位置にあることを確認してください。取り外す前に、コンロのトップバーナーが冷えていることを確認してください。

グリル・バーナー

バーナーを移動する際は、グリルのオリフィスにバーナーが正しくセットされている必要があるため、細心の注意が必要です。掃除の頻度は、グリルの使用頻度によります。

メインバーナー清掃

ガス供給が停止し、ノブが「○」の位置にあることを確認します。グリルが冷めていることを確認します。バーナーの外側をワイヤーブラシで清掃します。金属製のスクレーパーで頑固なスケールを除去します。まっすぐ伸ばしたペーパークリップでポートの詰まりを取り除きます。木製の爪楊枝は、折れてポートを詰まらせる恐れがあるので、絶対に使用しないでください。虫やその他の障害物がバーナーを通るガスの流れを妨げている場合はご注意ください。その場合は、カスタマーサービス (886-0800-500645) までご連絡ください。

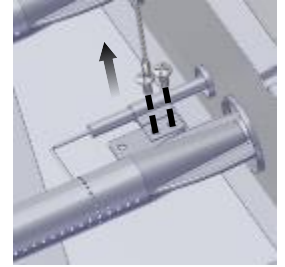
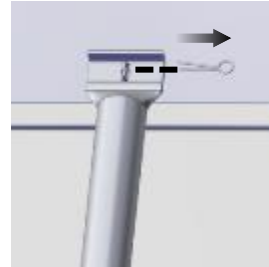
グリーストレイの洗浄

グリーストレイは定期的に空にして拭き取り、中性洗剤とぬるま湯で洗ってください。グリーストレイの底に少量の砂を入れてグリースを吸収させてもよいです。余分なグリースが溜まったり、グリース・トレイから溢れたりしないように、グリース・トレイを頻繁にチェックしてください。

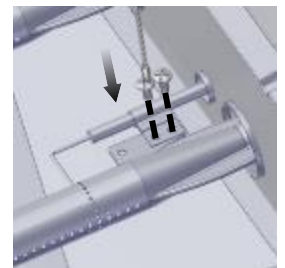
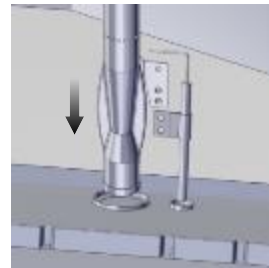
警告：メインバーナーを交換する場合は、専門的な訓練を受けた技術者に依頼することを強くお勧めします。不適切に組み立てられたバーナーに起因するいかなる責任、人身事故、物的損害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

メインバーナーの交換方法

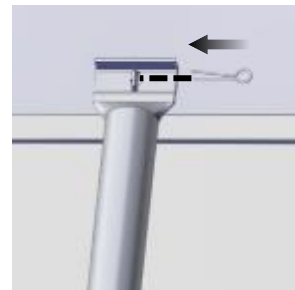
ステップ1.メインバーナー「R」ピンをニードルノーズプライヤーで外します。マイナスドライバーを使用してバーナーピンカバーを取り外し、下図のようにファイヤーボックスの前壁にあるバーナーを取り外します。



ステップ2.バーナーをオリフィスに挿入し、バーナーのピンカバーを取り付けてください。以下のように、バーナーの穴がオリフィスに向くようにしてください。



ステップ3.主バーナーをファイヤーボックスの背面壁に「R」ピンで固定します。



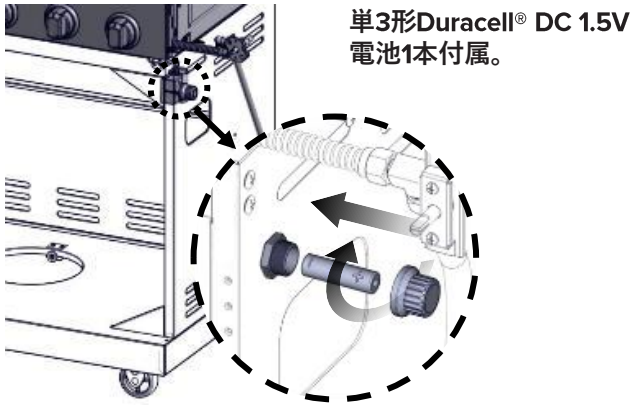
注意

1. 屋外調理用ガス器具の周辺には、可燃物、ガソリン、その他の可燃性の蒸気や液体がないようにしてください。
2. 可燃性および換気の空気の流れを妨げないでください。
3. シリンダー筐体の換気口には、ゴミが入らないようにしてください。

バッテリーが誤用や乱用される可能性を減らすため、以下のバッテリー取り付け手順に従ってください。

- a) 非充電式の乾電池は充電できません。
- b) アルカリ電池、炭素亜鉛電池、充電式電池など、異なる種類の電池を混ぜないでください。
- c) 古い電池と新しい電池を混ぜないでください。

バッテリーは、上の画像のように正しい極性で挿入してください。



トラブルシューティング

クモと昆虫の警告

バーナー／ベンチュリー管に虫や虫の巣がないかチェックし、清掃します。チューブが詰まると、グリルの下で火災が発生する可能性があります。バーナーチューブの閉塞だけが「フラッシュバック」の原因ではないが、最も一般的な原因です。「フラッシュバック」の可能性を減らすには、グリルを組み立てる前にバーナーチューブを清掃し、クモが最も活発に活動する夏の終わりから秋の初めにかけては、少なくとも月に一度は清掃してください。また、グリルを長期間使用していない場合は、このバーナーチューブ清掃を行ってください。

クモを探すタイミング

バーナーは、少なくとも年に1回、または以下の状態が発生した直後に点検する必要があります：

- 1. バーナーの炎が黄色く見え、ガスの臭いがします。
- 2. グリルの温度が上がりません。
- 3. グリルの加熱にムラがあります。
- 4. バーナーから破裂音がします。

サービスを依頼する前に

グリルが正常に機能しない場合は、販売店に修理を依頼する前に、以下のチェックリストを使用してください。サービスコールの費用を節約できるかもしれません。
予熱：予熱時間中はグリルの蓋を閉じた状態にしておきます。食材の種類や調理温度によっては、調理前にグリルを予熱する必要があります。高い調理温度を必要とする食品は、5分間の予熱が必要です。
より低い調理温度を必要とする食品は2～3分でよいです

調理温度

強設定-ステーキやチョップの炙り焼きやグリルなど、素早いウォームアップに使用します。
低設定-すべてのロースト、ベーキング、魚のような非常に赤身の多いカットの調理にこの設定を使用します。
これらの温度は外気温や風の量によって変化します。
直火調理：グリルの片側で鶏肉や大きな肉をじっくりと焼き上げ、もう片側のバーナーから間接的に熱を加えることで、完璧な状態に仕上げるすることができます。点火されたバーナーの熱がグリル全体に静かに循環し、肉や鶏肉に直接火が触れることなく調理できます。る脂や肉汁に直接火が当たらないため、脂肪分の多い肉を調理する際の焦げ付きが大幅に軽減されます。

注意：運転中にバーナーが消えた場合は、ガス供給元を閉め、全てのガス栓を閉めて下さい。蓋を開け、再点火する前に5分間待つ（こうすることで、溜まったガスが抜ける）。

注意：万一、油火災が発生した場合は、発生源のガス栓を閉め、すべてのバーナーを止め、火が消えるまで蓋を閉めたままにしてください。

注意：グリルの運転中は、絶対にガス栓を抜かないでください。他の電化製品と同様、適切なお手入れとメンテナンスを行うことで、最高の作動状態を保ち、寿命を延ばすことができます。ガス管も例外ではありません。

注意：蓋を閉めたまま使用すると、サイドバーナーの蓋が熱くなります。

問題	解決策
グリルに火をつけようとすると、すぐに火がつかない。	バーナーに点火しようとしている間、火花があることを確認してください（火花がない場合）。バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。ワイヤが電極アセンブリに接続されていることを確認します。消毒用アルコールと清潔な綿棒で、ワイヤーと電極を清掃します。清潔な布で拭いてください。他のバーナーが作動するか確認します。もしそうなら故障しているバーナーのガスオリフィスに障害物がないか点検してください。

問題	解決策
点火ボタンを押してもロティサリーバーナーに火がつきません。	ゴミが電極を塞いでいないか確認します。電極からバーナーに火花が飛ぶか確認します。スパークが見られない場合は、イグナイターボックス内のバッテリーをチェックしてください。ターンカウンターを開きます。赤外線バックバーナーは、マッチで点火しようとするとう火がつきますか？そうでない場合は、ガスがオンになっていることを確認します。
レギュレーターから異音が出ます。	レギュレーターのエントホースが詰まっているか、レギュレーターが故障している可能性があります。レギュレーターのエントホールが塞がれていないことを確認してください。穴を開け、ガス調整弁を閉じます。10分待ってから再始動します。炎が適切に機能しているかチェックします。炎が正しくない場合は、レギュレーターを交換してください。
フルサイズのカバーはグリルに合いません	お使いのグリルにカバーが合っていない可能性があります。タイトフィットかもしれませんが。カバーの長さがグリルに合っていることを確認してください。左右に測ります。グリルの寸法と比較します。カバーのフード部分の位置とサイズを、お使いのグリルと比較します。カバーを広げ、できれば暖かい日差しが暖かい部屋でリラックスさせます。サイドに棚があるグリルは、カバーを靴下のように束ね、左から右へ装着します。
ロティサリーモーターが回転しない。	モーターが適切に接地された電源に接続されていることを確認してください。オン／オフスイッチがオンの位置にあることを確認してください。串がロティサリーモーターに完全に挿入されていることを確認してください。負荷が18kg操作容量を超えないようにしてください。足かせや引きずりがないことを確認してください。
グリルが93～149℃までしか加熱しないです。	燃料ホースが曲がっていたり、よじれていないか確認してください。グリル周辺にほこりがないことを確認してください。バーナーとオリフィスが汚れていないことを確認してください。クモや昆虫がいないか確認してください。レギュレーターには、ガスが漏れた場合にガスの流れを制限する安全装置があります。この安全装置は、ガス漏れがなくても作動します。安全装置をリセットするには、全てのバーナーを止め、LPタンクバルブを閉めます。LPタンクからレギュレーターを外し、1分間待ちます。レギュレーターをLPタンクに再接続し、バルブが全開になるまでLPタンクバルブをゆっくりと開きます。すべてのバーナーに点火し、温度を観察してください。
グリルの予熱に時間がかかる。	通常の予熱は260～316℃、約10～15分。寒冷地や強風の場合、予熱時間に影響が出ることがあります。火山石や練炭を使用する場合は、予熱時間と最高温度を上げることができます。
バーナーの炎が水色でない。	炎に対する空気の量が多すぎるまたは足りません。高さが主な原因だが、寒さが混合物に影響することもあります。バーナーの調整が必要な場合があります。グリルは風の強い場所にありません。

部品の注文

交換部品の注文方法

ご使用のガスグリルの正しい交換部品を入手するために、15ページの部品リストをご参照ください。正しい部品を入手するために、以下の情報が必要です。交換部品の送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

- ガスグリルの型番（グリルのデータシールを参照）。
- 必要な交換部品の部品番号。
- 必要な交換部品の説明
- 必要な部品の数量

交換部品のお求めは、カスタマーサービス・ホットラインまでご連絡ください。886-0800-500645。

重要

工場認定の部品のみを使用してください。工場承認されていない部品を使用することは危険です。保証も無効になります。この組立および取扱説明書は、参照や交換部品の注文に便利のように保管してください。

製造者は、本製品（モデル番号720-0898E）が、正しく組み立てられた後、通常の妥当な家庭での使用において、以下に示す期間、製造上の欠陥および材料上の欠陥がないことを、最初に購入した消費者に対してのみ保証します。製造者は、損害の証拠となる写真を要求する権利、または消費者が送料および/または運賃を前払いして欠陥部品を返送し、確認および検査する権利を留保します。Nexgrill の義務は、Nexgrill の選択により、修理、交換、または減価償却価値に限定されます。

- **チューブバーナー:**穿孔に対する10年間の保証。
- **クッキンググリッドとフレームタイマー:**1年間の限定保証。落下、欠け、傷、表面の損傷は対象外。
- **ステンレス部品:穿孔に対する1年間の限定保証;** 表面の腐食、傷、錆などの外観上の問題は対象外。
- **他の部品:**1年間限定保証（パルプ、フレーム、ハウジング、カート、コントロールパネル、イグナイター、レギュレーター、ホースを含むが、限定されない）※欠け、傷、ひび割れ、表面の腐食、傷、錆は対象外。

本保証書に記載されている購入証明書を消費者が提出した場合、製造者は該当する保証期間中に瑕疵が証明された部品を修理または交換します。修理や交換に必要な部品は、購入者が購入日から保証期間内である限り、送料を除いて無料で提供されます。この限定保証の条件に基づき交換される部品の送料は、最初に購入した消費者が負担するものとします。この限定保証は、アメリカ合衆国およびカナダでのみ適用され、製品の最初の所有者にのみ有効であり、譲渡不可です。製造者は購入日の合理的な証明を要求します。そのため、領収書や請求書は大切に保管してください。本機をギフトとして受け取られた場合は、ギフトの贈り主に領収書の代理送付を依頼し、下記住所までお送りください。本限定保証の対象となる瑕疵または欠落のある部品は、登録または購入証明がない限り交換されません。本限定保証は、製品の機能のみに適用され、熱、研磨剤、化学洗剤、または機器の組み立てや設置に使用された工具による傷、へこみ、腐食、変色、表面の錆、ステンレス鋼表面の変色などの外観上の問題は対象外となります。製品の構造的完全性に影響を与えない金属部品の表面の錆、腐食、粉体塗装の欠けは、製造上の瑕疵または素材の瑕疵とはみなされず、本保証の対象外となります。本限定保証は、いかなる不都合、食品、人身傷害または物的損害の費用を補償するものではありません。オリジナルの交換部品が入手できない場合は、同等の交換部品をお送りします。本限定保証の条件に基づいて交換された部品の送料は、すべてお客様の負担となります。

メーカーは下記の手数料が負担しません:

- ご自宅へのサービスコール
- お客様の製品が通常の一戸建て住宅または住宅用以外の用途に使用された場合の修理。
- 事故、改造、誤用、メンテナンス/清掃の不足、乱用、火災、洪水、天災地変、不適切な設置、電気または配管の規定に従わない設置、製品の誤用から生じる損害については保証されません。
- 製品の不具合による食品ロス
- 日本国外で使用されたユニットの交換部品または修理工賃。
- 商品の集荷・配達
- 書類として送付された写真の郵送料または写真処理料。
- 製品の不正改造に起因する部品またはシステムの修理。
- 製品の取り外しおよび/または再インストール。
- 保証/非保証および交換部品の送料（標準または速達）。

黙示保証の否認、救済措置の制限

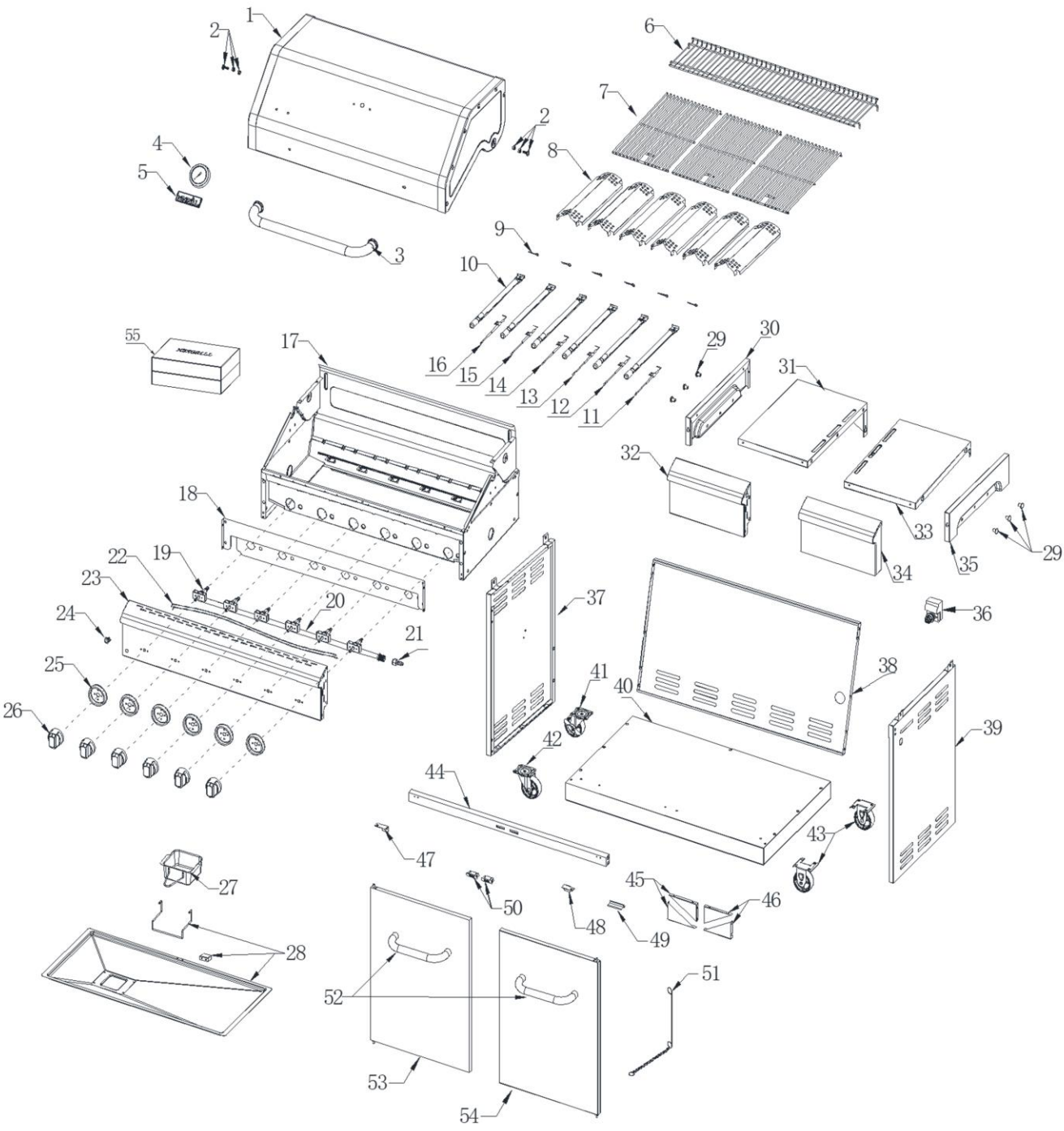
欠陥部品の修理または交換は、本限定保証の条項に基づくお客様の唯一の救済手段です。製造者は、本限定保証または適用される黙示保証の違反に起因する派生的または偶発的な損害、または天災地変、不適切な手入れや保守、油火災、事故、改造、製造者以外による部品の交換、誤用、輸送、商業的使用、乱用、敵対的環境（悪天候、自然災害、動物のいたずら）、不適切な設置、または地域の法令や印刷された製造者の指示に従わない設置に起因する故障や損害について責任を負いません。

本限定保証は、製造者が付与する唯一の明示的保証です。どこに記載されているものであっても、製品の性能仕様または説明について、製造者はこの限定保証に規定されている範囲を除き保証しません。いかなる州の法律の下で生じる黙示の保証保護（商品性または特定の目的または用途への適合性の黙示保証を含む）は、本限定保証の有効期間に限定されます。

販売店および本製品を販売する小売店は、上記の保証に加えて、または上記と矛盾する保証や救済を約束する権限を有しません。製造者の最大責任は、いかなる場合においても、元の消費者が支払った製品の文書化された購入価格を超えないものとします。本保証は、正規販売店または再販業者から購入されたユニットにのみ適用されます。注意：州によっては、付随的損害または派生的損害の除外または制限を認めていないため、上記の制限または除外の一部がお客様に適用されない場合があります。本限定保証は、本書に定める特定の法的権利をお客様に付与します。また、州によって異なるが、その他の権利を有する場合があります。

Costco Wholesale Japan Ltd.
2 Kakuchi, 2 Gaiku, Kaneda-Nishi
361 Urikura, Kisarazu shi
Chiba, 292-0007 Japan
0570-200-800
www.costco.co.jp

Nexgrill Industries, Inc.
Tel: 886-0800-500645
(日本語、英語、中国語)



部品リスト

番号	部品（説明）	数量	番号	部品（説明）	数量
1	メインの蓋	1	31	サイドシェルフ、左	1
2	主蓋のネジ	2	32	左側棚コントロールパネル	1
3	メインリッドハンドルアセンブリ	1	33	サイド棚、右	1
4	温度計	1	34	右側棚コントロールパネル	1
5	ロゴ	1	35	サイドシェルフエンドキャップ、右	1
6	保温ラック	1	36	パルスイグナイターモジュール	1
7	調理グリッド	3	37	カートサイドパネル、左	1
8	フレームティマー	6	38	カート後部パネル	1
9	メインバーナーピンアセンブリー	6	39	カートサイドパネル、右	1
10	主管バーナー	6	40	カート底面パネル	1
11	メインバーナー点火ワイヤー A	1	41	ブレーキ付き回転キャスター	1
12	メインバーナー点火ワイヤー B	1	42	回転キャスター	1
13	メインバーナー点火ワイヤー C	1	43	ストレートキャスター	2
14	メインバーナー点火ワイヤー D	1	44	カートフレーム、フロント	1
15	メインバーナー点火ワイヤー E	1	45	三角ブラケットA	2
16	メインバーナー点火ワイヤー F	1	46	三角ブラケットB	2
17	メインバーナーボウルアセンブリー	1	47	ドアヒンジ固定プレート、左	1
18	フロントバッフル	1	48	ドアヒンジ固定プレート、右	1
19	主ガス栓	6	49	ドアバリアピース	1
20	メインマニホールド	1	50	ドア・マグネット	2
21	レギュレーターアダプター	1	51	マッチホルダー	1
22	パルスイグナイターワイヤー	2	52	ドアハンドル	2
23	メインコントロールパネル	1	53	ドア、左	1
24	パルス点火ボタン	1	54	ドア、右	1
25	メインバーナーベゼル	6	55	グリルカバー	1
26	コントロールノブ	6	56	ハードウェアパック	1
27	グリースボックス	1	57	マニュアル	1
28	グリースパン組立	1			
29	調理器具用フック	6			
30	サイドシェルフエンドキャップ、左	1			

製造者による限定保証付き。

720-0898E

2025 無断転載を禁じます。